

13 小児・AYA世代向けがんサロンの紹介

会 名 称	一般社団法人がん哲学外来認定カフェG-AYA (通称：じーあや)			
対 象 疾 患 等	全種の患者 (15～39歳)、その周辺サポーター (家族、友人、支援者)			
サロン開催場所・日程	群馬大学医学部附属病院アメニティモール カンファレンスルーム第3(ローソンの上) ※変更あり。 偶数月の第四金曜日18時から19時30分			
問い合わせ先	慶原 凌太 TEL : 080-8011-6707 メールアドレス ryovulnerability@gmail.com ホームページ https://g-aya.jimdosite.com			
会 員 数	10名程度	会 費 等	なし	

主な活動内容

本人とその家族を「独りぼっちにしない」をモットーに、同じような経験をもつ人とのつながりや、話し合える場を提供しています。若者世代ならではの悩みや困り事について、またその頑張りについて語り合います。

会員からのメッセージ

がんに関わる AYA 世代や、そのサポーターに向け、がん哲学外来の教えをもとにあたたかな雰囲気での対話の場を提供しています。あなたと同じように悩む、頑張る人達と出会い、新たな発見をしてみませんか。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

参考情報

桐生大学医療保健学部看護学科 松沼 晶子

一緒にサポートします。「お父さん、お母さん、お子さんにがんのことをどのように伝えていきますか。」

悩んでいる方のために、がんのことを大切なお子さんへ伝えやすくする絵本をご紹介します。
是非、お子さんにこの絵本と共にご自身の気持ちを伝えてみましょう。きっとお子さんがお父さん、お母さんの気持ちを温めてくれることでしょう。お子さんはあなたのことが大好きで大好きで一番の味方です。



「ある日、お父さんお母さんががんになってしまったら」

作：Ann Couldrick 訳：阿部まゆみ

「ずーっとずっとだいすきだよ」

作・絵：ハンス・ウィルヘルム 訳：久山 太市
発行：評論社

「おかあさんだいじょうぶ?」

作：乳がんの親とその子どものためのプロジェクト 絵：黒井 健 発行：小学館

「きみのそばにいるよ」

作：いぬい さえこ 発行：パイ インターナショナル

「ママ、なんで? びょうきのママにききたいの」

作：阿部 円香 絵：さとみ 発行：書肆侃僞房



Hope Tree (ホープツリー) <https://hope-tree.jp/>

パパやママががんになったら～Hope Tree～は、がんになった親を持つ子どもをサポートするためのさまざまな情報やプログラムを提供しています。